

社会教育施設の見直し検討について

～アジェンダ～

1. 提案の目的について
2. 背景について
3. 施設の評価・優先順位について
4. 現状評価（マトリクス概要）
5. 老朽化・地球温暖化の影響を受けやすい施設（検討優先度「高」）
6. 施設統廃合・再編の検討予知がある主な施設（検討優先度「中」「小」）
7. 展開方針について

教育委員会社会教育 G
（令和 7 年10月27日現在）

1. 提案の目的について

安平町では、社会教育施設（スポーツ施設・文化施設等）が年々老朽化し、地球温暖化や利用者の減少によって維持が難しくなっています。当町における、住民サービスの質を維持しつつ、財政的な持続性を確保するため、教育委員会社会教育Gが所管する施設の継続・廃止の方向性を検討いただき、その後の進め方や取り組みについて提案を行うものです。

□提案事項

本提案に示した施設評価と優先順位などの方向性を基本とし、今後の社会教育施設の継続・廃止の方向性について確認させていただきたい。

※行政協議としては、安平町行政改革推進委員会で協議（5月8日）

2. 背景について

安平町内には多くの社会教育施設（スキー場、プール、野球場、公民館、資料館など）があり、地域における教育・文化・スポーツの振興を支えています。

しかし、施設の老朽化や地球温暖化の影響で、維持管理費の増加や利用者数の減少、施設の管理運営に課題が生じています。

3. 施設評価・優先順位について

各施設の評価（案）については、安平町公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）に基づき「定量評価」「配置評価」「総合評価」の観点により評価を行い、また、検討優先度（案）については、温暖化の影響度や類似施設などの観点により「高」「中」「低」の3分類で整理。

□評価（案）の観点は以下のように設定。

- 定量評価：利用者数、収支、維持費、建築年次など
- 配置評価：町内の位置関係、重複施設の有無、地域偏在など
- 総合評価：地域貢献度、自治活動支援度、安全性、将来性、温暖化影響など

□検討優先度（案）の観点は以下のように設定。

- 高：地球温暖化の影響や施設の老朽化、または利用者数の減少が顕著で、今後、持続可能な運営が難しくなる可能性が高いため、優先的に検討が必要な施設
- 中：施設の老朽化や維持費用、重複する施設の存在などにより、今後の見直しが必要であるが、改善策がとりやすい施設
- 低：施設状態が良好であり、今後も地域活動において重要な役割を果たすため、検討優先度が低い施設

4. 現状評価（マトリクス概要）について

評価軸	内容
数字で評価	利用者数・維持費用・収支等を指標とし、直近3年のデータを元に評価
配置評価	他施設との距離や機能重複、地域的バランスから代替可能性等を評価
総合評価	地域性・まちづくり視点・老朽度・安全性・教育文化的意義を総合的に判断
検討優先度（案）	温暖化影響度や維持コスト、今後の利用見込みなどから 「高・中・低」で分類

5. 老朽化・地球温暖化の影響を受けやすい施設（検討優先度「高」）

施設名	主な課題
安平山スキー場	雪不足による営業縮小／設備老朽化／学校授業の利用終了予定／赤字運営
追分プール	室温・水温上昇／熱中症リスク／利用者数減少／休館頻発（人員、故障、藻の発生
町民スケートリンク	気温上昇で営業困難／利用者減少／冬季利用の縮小

6. 施設統廃合・再編の検討余地がある主な施設（検討優先度「中～低」）

主な対象	主な検討内容
柏ヶ丘球場／ときわ球場	機能重複・老朽化が進行や使用頻度と維持費用から統合・集約の検討（土地利用の観点から）が必要。
安平・遠浅公民館	安平・遠浅公民館は自治会館的機能も有していることから、統合・代替利用の検討が必要（地域利活用の観点から）
追分・早来郷土資料館	合併により重複／利用実態・展示更新等を踏まえた一体的な見直しが必要 ※郷土資料としての定義もこの機会に整理する。（生活用品は不要）

社会教育施設の評価マトリクス



老朽化



温暖化



利用減少

施設名	数字で評価 (利用・収支)	配置評価 (代替・分布)	総合評価 (地域性・必要性・課題)	検討優先度 (案)
安平山スキー場	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者減 (過去5年平均: 37営業日/1日約1,200人) ○過去10年で約2億円の赤字 	<ul style="list-style-type: none"> ○東胆振管内唯一のスキー施設 ○町外利用者もある程度あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化影響で営業困難状況が多い ○学校授業の利用終了 ○設備更新費が非常に高額 (3~4億) 	<p>高</p>
追分プール	<ul style="list-style-type: none"> ○建設41年経過 ○1日平均13人未満の利用 ○室温40度超えによる休館が複数年 	<ul style="list-style-type: none"> ○早来スポーツセンター温水プールと機能重複 ○追分地域が主 (局所性が高い) 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童利用が中心だが利用頻度低い (藻も発生) ○熱中症リスク高い ○施設構造上の課題顕著 	<p>高</p>
町民スケートリンク	<ul style="list-style-type: none"> ○営業日数が減少 (地球温暖化影響) ○利用者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツセンターでは屋内のアイスアリーナ有 ○代替施設は町外に依存 	<ul style="list-style-type: none"> ○温暖化で安定営業が困難な状況 ○維持コストと利用のバランスに課題 	<p>高</p>

社会教育施設の評価マトリクス



老朽化



温暖化



利用減少

施設名	数字で評価 (利用・収支)	配置評価 (代替・分布)	総合評価 (地域性・必要性・課題)	検討優先度 (案)
柏ヶ丘球場	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化進行中 ○一塁側ダッグアウトに歪みあり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ときわ球場と機能重複 ※追分地区土地利用における整理が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域利用の拠点だが、維持費用と利用頻度のバランス見直しが必要 	<p>中</p> <p>(施設重複)</p>
ときわ球場	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンプ場と隣接し管理が複雑化 ○R4ナイター照明設備更新 	<ul style="list-style-type: none"> ○柏ヶ丘球場と同機能の施設 (町内に2施設) ※スポーツ施設の集約地として整理中 	<ul style="list-style-type: none"> ○拠点性は高いが、効率性の観点で再編検討対象 	<p>中</p> <p>(重複施設の再編検討)</p>
追分郷土資料館	<ul style="list-style-type: none"> ○震災後から休館中 ○郷土資料とは言えないものが多数保存 	<ul style="list-style-type: none"> ○早来郷土資料館と機能重複 	<ul style="list-style-type: none"> ○統合・集約の検討が急務 	<p>中</p> <p>(機能統合)</p>
早来郷土資料館	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化進行中 ○郷土資料とは言えないものが多数保存 ○早来学園前に位置し景観・動線上の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○追分郷土資料館と機能重複 	<ul style="list-style-type: none"> ○統合や展示の見直し含め、郷土資料機能の再構築が必要 	<p>中</p> <p>(統合・機能見直し)</p>

社会教育施設の評価マトリクス

施設名	数字で評価 (利用・収支)	配置評価 (代替・分布)	総合評価 (地域性・必要性・課題)	検討優先度 (案)
追分公民館	○大ホール設備老朽化 (照明・音響・エレベーターなど) ○修繕継続実施中	○町内他公民館 (3館) と機能分散 ※文化的な機能を持たせることで整理中	○文化的施設としての主機能あり ・追分地域の中核拠点として一定の必要性	低 (設備修繕対応・利用多)
早来公民館	○統合型複合施設としてR6リニューアル	○スポーツセンター等と連携可能 ※スポーツ施設の位置づけ整理	○体育館＋合宿所機能含む統合型施設として今後も活用方針の明確化	低 (機能強化済み・今後活用)
安平公民館	○一部老朽化 (未増築部分)	○追分公民館や早来公民館と比較的近接	○自治会機能を持ち地域活動の場として定着 ○再編時の地域合意形成が重要	中 (施設更新・地域活動支援)
遠浅公民館	○比較的新しい施設	○早来公民館と近接	○自治会機能を持ち地域活動の場として定着 ○再編時の地域合意形成が重要	中 (新しい施設・地域活動支援)

評価指標

指 標	内 容
温暖化影響	気候変動による運営困難・営業短縮リスク
老 朽 化	建設からの経年数／設備の傷み度合い
利 用 状 況	利用者数（直近3年平均）、地域ニーズの有無
維持コスト	年間収支、修繕費・光熱費含む経常費
地域バランス	類似施設の重複、地理的偏り／代替性
優先度	総合的に見て、検討の早急性（高／中／低）

施 設 名	温暖化影響	老朽化	利用状況	維持コスト	地域バランス	優先度
安平山スキー場	高	高	減少傾向	高	○ (代替なし)	高
追分プール	高	高	少	中	△ (温水プール有)	高
屋外スケートリンク	高	中	減少傾向	中	△ (屋内リンク有)	高

評価指標 ※行革対象外施設含む

指 標	内 容
温暖化影響	気候変動による運営困難・営業短縮リスク
老 朽 化	建設からの経年数／設備の傷み度合い
利 用 状 況	利用者数（直近3年平均）、地域ニーズの有無
維持コスト	年間収支、修繕費・光熱費含む経常費
地域バランス	類似施設の重複、地理的偏り／代替性
優先度	総合的に見て、検討の早急性（高／中／低）

施 設 名	温暖化影響	老朽化	利用状況	維持コスト	地域バランス	優先度
柏ヶ丘球場（追分）	低	中	△	中	×（早来と重複）	中
ときわ球場（早来）	低	中	△	中	×（追分と重複）	中
多目的スポーツセンター	中	高	△	中	○	低
ス ポ ー ツ セ ン タ ー	低	中	多	高	○	低
安平山パークゴルフ場	低	中	季節一部多	中	○	低
鉄道資料館（道の駅内）	低	低	一部観光	中	○	低
追分郷土資料館	低	高	休館中	低	×（早来と重複）	中
早来郷土資料館	低	中	△	中	×（追分と重複）	中
町民センター（改修済）	低	低	多	高	○（複合施設）	低
追分公民館	低	高	多	高	△（他に2館有）	低
安平公民館	低	中	△	中	△（他に2館有）	中
遠浅公民館	低	低	少	中	△（他に2館有）	中

7. 展開方針について

(1) 優先検討対象（高）施設

□最優先対象施設として年度内に整理していく（協議が整えば新年度予算計上なし）

□対象施設

- 安平山スキー場、追分プール、屋外スケートリンク
 - ▶老朽化＋地球温暖化＋収支悪化（費用対効果が少ない）

(2) 重複施設の見直し（中）

□合併による重複施設として比較的早い段階で協議していく。（町民・団体等対話しながら判断）

○対話方法：ワークショップ、アンケートなど検討

□対象施設

- 追分・早来郷土資料館
 - ▶機能重複＋老朽化＋一方は休館中
- 柏ヶ丘・ときわ球場
 - ▶稼働状況と維持費から統合検討
- 安平・遠浅公民館
 - ▶地域利活用促進と機能集約の再評価
 - ▶安平地区・遠浅地区まちづくり協議会との協議

(3) 今後の利用促進・見直し対象（低）

□今後利活用促進や費用対効果を見ながら施設運営を行っていく（維持管理含め）

□対象施設

- パークゴルフ場・鉄道資料館・多目的スポーツセンター・早来スポーツセンター＋早来公民館・追分公民館
 - ▶観光利用や町民利用の促進を中心とした継続方針における活用策検討

7. 展開方針について（一覧）

優先度	対象施設	主な理由	今後の方向
高	安平山スキー場 追分プール 屋外スケートリンク	老朽化、温暖化影響、費用対効果が低い	年度内に廃止検討
中	郷土資料館（追分・早来） 柏ヶ丘・ときわ球場 安平・遠浅公民館	機能重複、老朽化、休館・統合の余地	対話や協議を経て再編方針の検討
低	公民館（追分・早来） パークゴルフ場 鉄道資料館 多目的スポーツ施設	観光や町民利用の可能性あり	利活用を促進しつつ運営を継続

【参考】 取組みの経過について

□安平町行政改革プラン2022実施計画に基づく動きについて

○公共施設ワーキンググループ会議（令和7年2月27日）

○安平町教育委員会（令和7年3月31日）

○安平町行政改革推進委員会（令和7年5月8日）

○安平町スポーツ推進委員会議（令和7年5月14日）

○安平町教育委員会（令和7年5月27日） ▶ 継続・廃止に向けた提案

○安平町スポーツ推進委員会議（令和7年7月3日） ▶ 継続・廃止に向けた提案

○安平町社会教育委員会議（令和7年7月17日） ▶ 継続・廃止に向けた提案

○安平町社会教育委員会議（令和7年10月2日） ▶ 意見徴収

【参考】取組みの経過について

□今後のスケジュールについて

- 議会全員協議会（10月27日）
 - ▶ 議員説明
- 住民（関係団体）説明
 - ▶ 住民・関係団体への説明
 - ※後期自治会長会議、総合計画策定に向けたフォーラムなど
- 関係条例の廃止（3月）
 - ▶ 条例及び新年度予算計上なし
 - ※廃止の方向で進んだ場合のスケジュール